支社長対談「北海道の明日を聞く」シリーズ【16】

ハウジングオペレーション・石出和博社長

道産材「本物」への好機

口コミで浸透

浅海　HOPグループの設計・施工した家が、道内外で評価を高め、本州にある地方銀行の頭取の家も、設計・施工されたと聞きました。

石出　コストダウンのために材料を安くした無機質な家は造りません。木の癖を生かした、他にまねのできない高品格な家を造りたい。道産材を活用するのもそうした思いからです。

浅海　高価になりますね。

石出　予算の中で実現できる最高の家を造ります。私たちの考えに共感していただける方であれば、あらゆる生活パターンに応じ、家を建てていきます。

浅海　理想的過ぎでは。

石出　「家造り」は「お客さんの財産を作る」と同義語だと思います。「人生の場」を作っているとも言え、住む人の人生観すべてが表現される。でも、家を造って満足している人は3割しかいないと言われます。お客さんが幸せだと思える満足いく提案が出来れば、営業マンがいなくても、口コミでお客さんがお客さんを連れて来てくれる。理想的なのでなく、当たり前のことだと思います。

浅海　日本の建築文化を「使い捨ての住宅文化」と批判されています。

石出　戦後に家を大量生産した考え方が間違っていたのだと思います。大量生産された家は愛着を持てません。家に愛着を持てなくなっているから社会もすさんでくるのです。日本には元々、法隆寺などに見られるように1000年先でも通用する設計・施工の文化がありました。自然に近い昔の建物は本当に美しい。当社の「森をたてよう」という基本概念は、まさにそのことを意味しています。

浅海　最近では横浜と京都に支社を設け、本州での展開が目立ちます。

石出　道産材を使った家は600棟ぐらいにはなっていると思います。そのうち、本州の家は1割程度です。本州の家についても、札幌の丘珠の工場で建具・家具をすべて作って持って行き、京都と首都圏では認定工務店を選んで、組み立てます。京都に出て5年、首都圏に出て8年、今では仕事が多く間に合わない。口コミの威力を本州の仕事から学びました。

北海道の森

浅海　道産材の利用にこだわったのは、出身が森に恵まれた芦別市だったことと深い関係があったのでしょうか。

石出　中学や高校生だったころ、芦別では炭鉱の坑木用にカラマツを植えていました。ところが、事業を興して故郷に帰ると、カラマツはたくさん生えているのに、山で仕事をする同級生の暮らしは苦しい。「どうしてか」と尋ねると、「カラマツは曲がるからどうにもならん」との答えが返ってきました。そこで、「曲がらないようにすればカラマツを使えるではないか」と発想を転換したのです。道の林産試験場と共同で技術を開発し、道が開けました。

浅海　住宅の主力材だったロシア産材が、近年、盛んに中国向けに出荷されるようになり、道産材の伐採が盛んになっています。どう見ていますか。

石出　外材が高価になったから、世界で最も安価になった道産のカラマツが使われています。経済効率だけを理由に利用することが一番という考えには、あまり賛成できません。しかし、林業に従事する山の人たちに活気が戻り、同時に間伐も進んでいます。今が道内の林業にとってチャンスだとも言えます。

浅海　芦別で道産材の調達を支える「協同組合」を結成されたそうですが、かなり苦労されたようですね。

石出　山の人たちを説得して組合を作るのは、正直、大変でした。道産材の利用を促進しようと、私も一生懸命取り組んだし、道庁の担当課も一緒になって説得に当たってくれました。振り返れば日本の林業をなんとかしたいという使命感が強かったから出来たのだと思います。

浅海　植林も行っています。

石出　家造りを通じて木に関心を持つ方が増え、毎年、植林を行っていますが、森が元気になるにはまだ間伐が必要です。

北海道への思い

浅海　建築という切り口から北海道を見るとどういった印象をお持ちでしょうか。

石出　小樽運河など、とても美しい建造物を移転しようとする動きが過去にありました。北海道の人たちの多くは、本物かそうでないかの目利きの能力が低い気がします。「安ければいい」という風潮があり、無味乾燥な住宅が増え続けている。

浅海　北海道の建築文化の将来を悲観されていますか。

石出　必ずしもそうではありません。道産材を使い、お客さんに満足してもらえる本物の家を造っていきます。10年もすればそういった家で街並みが形成され、多くの人に「いい家だ」と実感してもらえる確信はあります。

浅海　北海道経済を活性化させる方策をどう考えますか。

石出　道民は明るいし、豊かな自然もある。そう悲観することはないと思います。本州の企業を誘致して経済を活性化することが一番という考えには、あまり賛成できません。

モデルハウス内でハウジングオペレーションの石出社長（右）と対談する浅海支社長（札幌市中央区で）

▶「家造り」は「人生の場」を作ること、と語る石出社長

【ハウジングオペレーション（HOP）】　北海道の木材の確保から製材、流通、建築に至るまでを協業化する新しい住宅供給システムを確立、事業をスタートさせた。カラマツ材のほか、床にはナラ材、柱にはタモ材などと、特性に合致した道産材を意欲的に活用するのが持ち味だ。設計を担う「アトリエアム」、施工会社の「藤田工務店」とあわせて、HOPグループを形成。札幌市中央区の本社に加え、道内には旭川と帯広に支店があり、横浜市には東日本支社、京都市には京都支社も構える。グループの社員数は約100人。

いしで・かずひろ　北海道産業短大建築学部卒業。アサヒビール入社、道中堅青年海外派遣により、研修で渡米した米国の建築に刺激を受け、日本の伝統建築を学ぼうと帰国。1973年、藤田工務店に入社した。89年、一級建築士事務所の「アトリエアム」を設立し、住宅、茶室など多数の作品を発表。96年には国産木材を活用した産地直送の住宅供給システム「ハウジングオペレーション（HOP）」を設立。現在、藤田工務店とHOPの社長、アトリエアムの所長を務める。2006年に消費者志向優良企業の経済産業大臣賞を受賞するなど、多くの賞を得ている。61歳。

ひと

「仕事が最大の遊び」／家長の役 背負った少年時代

朝5時に起床して、インターネットのメールをチェックすることから一日が始まる。「仕事が最大の遊び。仕事のことを考えると、寝る時間が惜しい」と言ってはばからない。

高校を出てアサヒビールに入社、研修先の米国で建築に開眼し、短大に通い直して転職した。転職の理由を、「ビールの需要がピークとなる夏にストライキを平気で行い、生産水準を低下させていた当時の労働組合に我慢がならなかったから」と振り返る。

建築業界では、工務店の現場監督からスタート。その後、一級建築士の資格を取得した。手がけた華麗な家々の姿からは想像できないような下積みの経験が、腕利きの大工を見抜く眼力につながっている。

「生き方は宗教観と結びついている」と話す。4歳の時に父親を亡くし、小学校に入学してすぐ、鉄道事故で一緒にいた7人の友人を一瞬にして失った。そういった経験が、生き方に多大な影響を与えたのは、間違いない。母親と祖母、姉5人という女系家族の中で育った。「気づいたら農家の主として必死に生きてきた」という少年時代の体験が、経営者としての力強さにつながっているのだろう。

尊敬する経営者は、第二電電を設立し、情報通信事業の民営化に力を尽くした稲盛和夫さん（京セラ名誉会長）だ。機内で読んだ雑誌で、稲盛さんが「〈そんなことやれるわけない〉ということに挑戦したい」と述べている部分に感銘を受けたという。（西沢隆之）

前に前に…宗教家のごとく

因果な商売だな――。あらためて、そう思いました。新聞記者とは。

資料を読み、ひとの話を聞く。明らかになる、石出さんの事業の今、仕事への姿勢、「森をたてよう」との熱い思い……。「いいな」と感じました。

が、同時に、知りたくなるのです。「でも、いいことばかりではないはず」と。インタビュー本番。

もちろん、石出さんの活動、戦略、信念などを必死に聞き出そうと。

だが、「人間・石出」を掘り起こすには、「いいこと」の「裏」が不可欠。

正直、時に「宗教家か」とさえ思わせる、一直線な人生の歩みの表出が続き、焦りも。

しかし――。

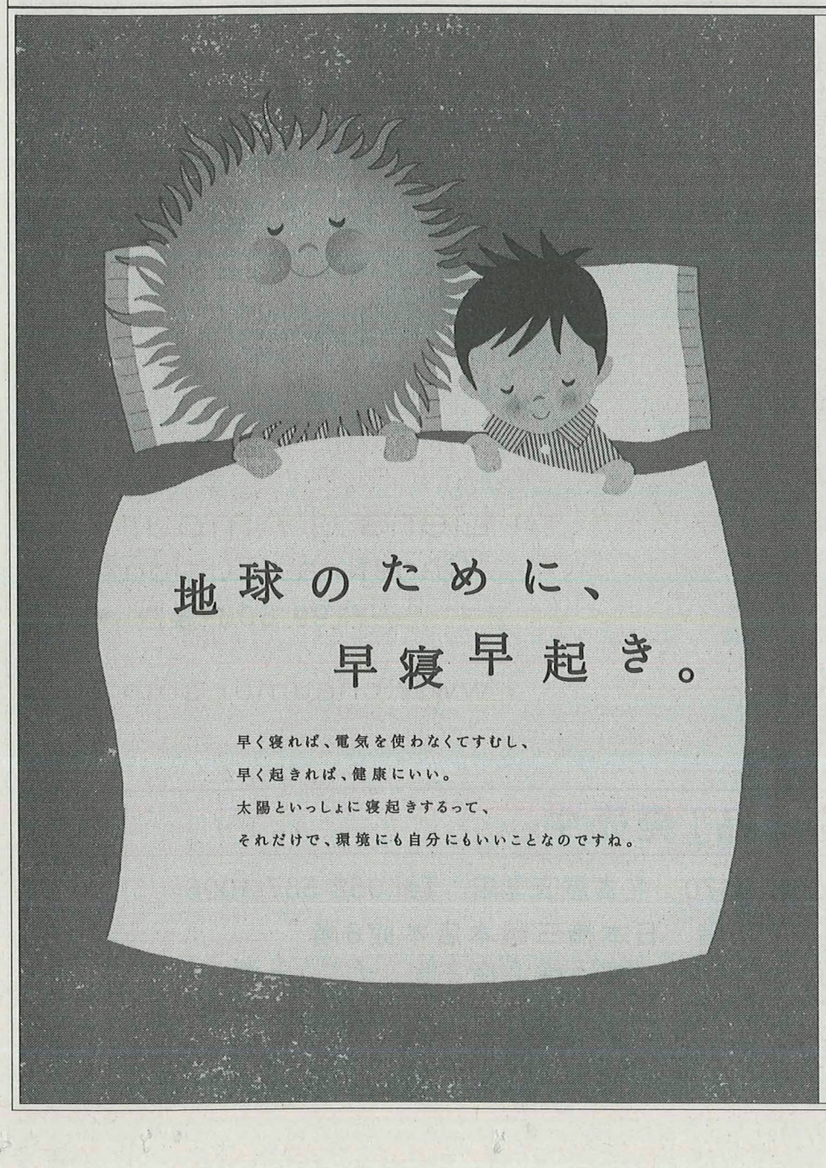
「よく聞いてくれました」と言うや、語り出したHOPの木材調達を支える「協同組合」結成の際の苦労、苦悩を聞くに及び、合点が行きました。

きれいごとだけ、言おうとしているわけじゃない。ただ、「前に前に」との思いが、失敗談などに費やす暇を、ときに排除してしまうのだ、と。

「道外に出る企業の多くは、安売りを看板にする。でも、私はその道をとりません」

石出流の成功を祈る。そう思わせしめる迫力に脱帽しました。

対談を終えて



読売新聞社主催 2007

地球にやさしい

作文・活動報告コンテスト

環境のために、ひとりひとりができること。

募集内容

1.「作文・活動報告部門」
「地球を救うために、今私たちができること」についての意見や提案、また実際に行っている活動の報告文。

2.「デザイン・マンガ・ポスター部門」
「地球にもっとやさしく、もっと長生きしてもらうために私たちにできること」を提案する内容のデザインやマンガ、ポスターなどの作品。

応募方法

1.「作文・活動報告部門」
〈小学生の部、中学生の部、高校生の部〉
400字詰め原稿用紙に日本語で1枚以上3枚以内。別紙にタイトル、郵便番号、住所、氏名、(ふりがな)、生年月日、年齢、電話番号、メールアドレス、学校名、学年を明記し、封書で郵送。Eメールによる応募も可(1200文字以内)。ごみ処理、リサイクル、自然の大切さなど、みんなのやっていること、思っていること、気持ちやアイデアを作文にしてください。
〈一般の部〉
日本語で応募。400字詰め原稿用紙3枚以内。別紙にタイトル、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、年齢、電話番号、メールアドレス、学校名、学年(または職業)を明記し、封書で郵送。Eメールによる応募も可(1200文字以内)。

2.「デザイン・マンガ・ポスター部門」
〈小学生の部、中学生の部〉
A4サイズ以上四つ切りサイズ(54cm×38cm)以下の紙(画用紙、普通紙、色紙、マンガ用紙など)を使用。縦横、画材は自由(絵の具、クレヨン、油絵、コラージュなど)。コンピューターで製作したイラストも可(ただし作品は出力紙で応募)。作品の裏面に、タイトル、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、年齢、電話番号、メールアドレス、学校名、学年を明記し、郵送。

応募先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-52-8 コージュビル2階
「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」事務局　E-mail:sakubun@nap.co.jp

締め切り
平成20年1月15日(火)当日消印有効

発表
平成20年2月下旬、読売新聞紙上

各賞

1.「作文・活動報告部門」
【内閣総理大臣賞】「作文・活動報告部門」に応募された全ての作品の中から最も優秀な1点…賞状と副賞(受賞者が小学生・中学生・高校生の場合は図書カード20万円、一般の場合は賞金30万円)
【東急グループ賞】「作文・活動報告部門」の「優秀賞」に選ばれた全ての作品の中から最も優秀な1点…賞状と副賞(図書カード5万円)

○小学生の部
【文部科学大臣賞】1点…賞状と副賞(図書カード10万円)
【優秀賞】2点……賞状と副賞(図書カード 3万円)
【入選】5点……賞状と副賞(図書カード 1万円)
【奨励賞】20点……賞状と副賞(図書カード 2千円)

○中学生の部
【文部科学大臣賞】1点…賞状と副賞(図書カード10万円)
【優秀賞】2点……賞状と副賞(図書カード 3万円)
【入選】5点……賞状と副賞(図書カード 1万円)
【奨励賞】30点……賞状と副賞(図書カード 2千円)

○高校生の部
【文部科学大臣賞】1点…賞状と副賞(図書カード10万円)
【優秀賞】2点……賞状と副賞(図書カード 3万円)
【入選】5点……賞状と副賞(図書カード 1万円)

○一般の部
【経済産業大臣賞】1点……賞状と副賞(賞金15万円)
【優秀賞】1点……賞状と副賞(賞金10万円)
【入選】5点……賞状と副賞(賞金 5万円)

2.「デザイン・マンガ・ポスター部門」

○小学生の部
【環境大臣賞】1点……賞状と副賞(図書カード10万円)
【優秀賞】1点……賞状と副賞(図書カード 3万円)
【入選】5点……賞状と副賞(図書カード 1万円)
【奨励賞】20点……賞状と副賞(図書カード 2千円)

○中学生の部
【環境大臣賞】1点……賞状と副賞(図書カード10万円)
【優秀賞】1点……賞状と副賞(図書カード 3万円)
【入選】5点……賞状と副賞(図書カード 1万円)
【奨励賞】20点……賞状と副賞(図書カード 2千円)

お問い合わせ

「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」事務局　TEL.03-3402-7801　応募期間中の土・日・祝日・年末年始を除く午前10:00～午後6:00
ホームページ(こちらで詳細情報や昨年の受賞作品がご覧になれます。)　www.yomiuri.co.jp/adv/sakubun/

このプログラムはこどもエコクラブパートナーシッププログラムです。こどもエコクラブは子どもが誰でも参加できる環境活動のクラブです。

[審査員]●「作文・活動報告部門」…幸田シャーミン(国連広報センター所長)/稲本正(工芸家・オークヴィレッジ代表)/高橋逸(東京急行電鉄株式会社 取締役執行役員社長室長)/小出重幸(読売新聞東京本社編集局科学部長)ほか。●「デザイン・マンガ・ポスター部門」…牧野圭一(京都精華大学教授・漫画家)/小出重幸(読売新聞東京本社編集局科学部長)ほか。(順不同) [主催]読売新聞社 [後援]文部科学省、経済産業省、環境省、全国都道府県教育委員会連合会、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、財団法人クリーン・ジャパン・センター、財団法人キープ協会、財団法人ボーイスカウト日本連盟、社団法人ガールスカウト日本連盟 ※デザイン・マンガ・ポスター部門は審査基準が異なるため、内閣総理大臣賞の対象にはなりません。※応募に関する個人情報はコンテストの発表、連絡以外には利用いたしません。※海外在住邦人の応募は学年、年齢に合わせて「小学生の部」「中学生の部」「高校生の部」「一般の部」に属します。※応募作品の返却はいたしません。著作権は読売新聞社に帰属。※応募作品は自作・未発表のものに限ります。※Eメールでの応募の際は、添付ファイルではなく、メール本文に作品をご記入下さい。

WE DO ECO　協賛 東急グループ